

設計ソフト対日拡販

英ポーラー・プリント基板用

英ポーラー・インスツ
ルメンツは一月に開設し
た日本支社（横浜市保土
ヶ谷区アミット・バルジ
ワジ支社長、045・33
9・0155）を拠点に、

高速プリント基板用の設
計ソフトとテストの販
売を強化する。98年から
国内需要が増えてきたこ
とに対応する。06年12月
期1億2000万円、08

年12月期は2倍の2億4
000万円を目指す。支
社の人員も売り上げ増加
に合わせて、現在の4人
から08年12月期までに10
―20人増やす予定だ。

同社の設計ソフトは計
算値と実測値の比較表を
構築することで理論的計
算と製造工程のバラつき
を評価、シミュレーショ
ン結果と試作品の誤差を
少なくできるのが特徴。
このため設計者の作業時
間も半減し、試作から量
産までかかる時間も通常
より3分の1ほど短縮で
きるという。プリント基

板は高集積化や高速化に
ともない短期間での開発
が求められており、半導
体関連企業が集積する国
内を有望な市場と見て、
積極的に売り込む。

ポーラー・インスツル
メンツの年間売上高は非
公表。日本以外に米国や
ドイツ、韓国に支社を出
している。